

講義レジュメ

講 師 津屋崎ブランチ 代表山口 覚
期 日 平成 29 年 7 月 31 日

テーマ：生涯学習の振興とまちづくりに役立つ対話学習とファシリテーションの実践

内容

- ・栃木県大田原市教育委員会学校教育課主査兼指導主事兼社会教育主事 浅羽 一裕氏の事例発表を話題に、参加者相互に学び合う手法を実践する。
- ・この手法を学ぶことで、同じ題材でも、幅広い解釈や気づきが得られることを体感し、それぞれの現場での実践を期待する。

○ファシリテーションとは何か？

話し合いを促進する技術のこと

その促進役をファシリテーターと呼ぶ

○今なぜ、ファシリテーションが求められているのか？

昨日まで正しかったことが明日正しいと言えない時代

人口減少、AI、経済成長の鈍化による新しいパラダイムの到来

グローバル社会で活躍できる寛容性の高い個人と多様性を認め合う組織

○ディベート（討論）とダイアログ（対話）の違いは何か？

ディベート：自らの立脚点を明らかにして、相手を論破する

ダイアログ：違いを発見し「なぜ違うのか」を問うことで、一人では気がつかない新しい世界を発見する。

○ホールシステムアプローチとは何か？

見聞きした知識に捉われず、一人一人の過去の経験に立脚して、全員の集合知により、深く高い時限の気づきを得ること。

以上